

2023年3月9日

りそなアセットマネジメント株式会社

## 「ESG ファンド」の追加について

りそなアセットマネジメント株式会社（以下、「当社」）は、ファンドの設定目的や特性を鑑み、当社が組成する公募ファンドのうち「ESG ファンド」および「インパクトファンド」と位置付けるファンドを明確にするとともに、2021年10月以降、継続的に開示しております。詳細については別紙をご覧ください。

今般、下記のファンドを設定し、当社の ESG ファンドに追加いたしました。

ファンド名称	主要投資対象	設定日
S m a r t - i 世界株式気候変動インデックス	グローバル株式	2022年10月
ラップ型ファンド・プラスESG（安定型）	複数資産	2022年11月
ラップ型ファンド・プラスESG（安定成長型）	複数資産	2022年11月
ラップ型ファンド・プラスESG（成長型）	複数資産	2022年11月

ESG ファンド／インパクトファンドにおいては、ファンドの設定目的、運用プロセスや特性、運用状況（投資先企業との対話・エンゲージメントの内容や今後の方針、インパクトの創出状況を含みます）などについて、お客さまにより分かりやすくお伝えするため、目論見書や運用報告書などの法定開示資料に加え、マンスリーレポート、インパクトレポートなどを通じて定期的に必要な開示を行ってまいります。

当社は、当社のパーパス（存在意義）である「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」することを通じ、お客さまに喜んで選んでいただける資産運用会社を目指しています。当社のパーパスの実現のため、これからも持続可能な社会への貢献と、お客さまへの充実した情報の提供に努めてまいります。<sup>1</sup>

以上

<sup>1</sup> 当社のパーパスや当社全体の責任投資にかかる取り組み等については、当社の「SUSTAINABILITY REPORT 2022/2023」（下記 URL）をご参照ください。

[https://www.resona-am.co.jp/investors/pdf/sus\\_report2022-2023.pdf](https://www.resona-am.co.jp/investors/pdf/sus_report2022-2023.pdf)

【別紙】

ESG ファンド

- 経済的なリターンを追求するとともに、投資対象や運用プロセスにおいて、とりわけ「環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Corporate Governance)」を考慮するファンドです。

ファンド名称	主要投資対象	設定日
りそな日本中小型株式ファンド	日本株式	2018年9月
S m a r t - i 国内株式E S Gインデックス	日本株式	2019年10月
国内株式E S Gインデックス・オープン	日本株式	2021年9月
S m a r t - i 先進国株式E S Gインデックス	先進国株式	2019年10月
先進国株式E S Gインデックス・オープン	先進国株式	2021年9月
グローバル中小型株式ファンド	グローバル株式	2020年10月
S m a r t - i 世界株式気候変動インデックス	グローバル株式	2022年10月
埼玉りそな・グローバルバランス・プラスE S G	複数資産	2020年9月
九州SDGs・グローバルバランス	複数資産	2021年11月
ラップ型ファンド・プラスE S G (安定型)	複数資産	2022年11月
ラップ型ファンド・プラスE S G (安定成長型)	複数資産	2022年11月
ラップ型ファンド・プラスE S G (成長型)	複数資産	2022年11月

インパクトファンド

- ESG ファンドのうち、社会や環境に関する課題を特定し、その課題に対しインパクト\*1を生み出すインテンション\*2を持つファンドです。
- 創出されたインパクトについては、定量面、定性面の両面から評価を行い、定期的に開示を行います。

\*1 社会課題や環境問題の解決に貢献するなど、社会に与える良い影響をいいます。

\*2 インパクト投資におけるインテンションとは、ポジティブで測定可能な社会的インパクトを生み出す意図をいいます。

ファンド名称	主要投資対象	設定日
日本株式インパクト投資ファンド	日本株式	2021年6月
グローバルインパクト投資ファンド (気候変動)	グローバル株式	2021年12月

※ 上記ファンドは 2023 年 2 月末までに設定したファンドです。